

2010

9・1

No. 21

市議会だより



# かいなん

市議会の本会議の会議録が海南省ホームページ (<http://www.city.kainan.lg.jp>) の議会情報から閲覧できます。



## 6月定例会

夢風鈴まつり(県立海南高校書道部夢書道パフォーマンス)

補正予算などを可決

議決内容 ..... 2ページ

総務・建設経済・教育厚生委員会の審査概要

常任委員会の概要 ..... 3ページ・4ページ

道路・防災・福祉問題など11人が質問

一般質問 ..... 5ページ～9ページ

特別委員会等の委員構成

新しい議会構成 ..... 11ページ

## 5月臨時会

議決内容 ..... 4ページ

常任委員会等の委員構成

新しい議会構成 ..... 10ページ～12ページ

### 日

### 程

○6月17日

開会

会期決定  
各議案上程  
市長提案説明

○6月22日

市政に対する一般質問

○6月23日

市政に対する一般質問

○6月24日

市政に対する一般質問

○6月25日

市政に対する一般質問  
議員提出議案3件に対する質疑・  
討論・採決

各議案に対する質疑

海南省監査委員選任の同意議案  
に対する質疑・討論・採決

○6月28日

総務委員会  
建設経済委員会  
教育厚生委員会

○7月7日

総務委員会委員長報告  
建設経済委員会委員長報告  
教育厚生委員会委員長報告  
委員長報告に対する質疑  
各議案に対する討論・採決

閉会

# 補正予算など 議案23件可決・ 同意・承認

## 6月定例会

平成22年海南省議会6月定例会は、6月17日から7月7日までの21日間の会期で開かれました。

この議会には、市長から条例の改正や補正予算、専決処分事項など議案20件が、また、議員からは特別委員会設置の議案が3件提出され、それぞれ可決、同意、承認されました。

### 議決内容

#### 可決

##### ●条例の改正 7件

▽海南省職員の育児休業等に関する条例及び海南省職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律等が改正され、育児中の職員に係る勤務環境の整備が図られたことに伴い、必要な規定の整備を行うため。

▽海南省税条例の一部を改正する条例

地方税法が改正され、扶養控除の一部の廃止、たばこ税の税率の引上げ並

びに非課税口座内の少額上場株式等の配当所得及び譲渡所得等の非課税措置の創設がなされること等に伴う必要な規定の整備を行うため。

▽海南省立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例

海南第一中学校と第二中学校の統合により、第二中学校の名称を海南中学校に変更するため。

▽海南省立海南下津高等学校条例の一部を改正する条例

公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律の制定に伴い、授業料の徴収に関する規定を廃止するため。

▽海南省国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の改正に伴い、必要な改正を行うため。

▽海南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、特例対象被保険者等に係る国民健康保険税の課税額の調整規定を定めるとともに、必要な改正を行うため。

▽海南省火災予防条例の一部を改正する条例

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令等が改正されたことに伴い、必要な改正を行うため。

##### ●平成22年度補正予算 6件

▽一般会計(第1号)

2億1840万円の増額補正

▽国民健康保険特別会計(第1号)

294万円の増額補正

▽老人保健特別会計(第2号)

21万2000円の増額補正

▽介護保険特別会計(第1号)

7966万5000円の増額補正

▽同和对策住宅資金貸付事業特別会計(第2号)

291万6000円の増額補正

▽市民病院事業会計(第1号)

財源更正に伴う4万円の増額補正

##### ●契約 1件

▽大東小学校耐震補強(本体)工事の請負契約締結

契約金額 1億3650万円

工事請負人 三友工業株式会社

##### ●その他 2件

▽市道路線の廃止

駅前街区1号線

▽市道路線の認定

駅前街区30号線

##### ●議員提出議案 3件

今議会で次の3つの特別委員会を設置しました。

▽水道事業対策特別委員会

▽大規模土地・中心市街地活性化対策特別委員会

▽議会だより編集特別委員会

##### 承認

##### ●専決処分されたもの 3件

▽平成22年度海南省老人保健特別会計補正予算(第1号)

▽平成22年度海南省産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)

▽平成22年度海南省同和对策住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)

##### 同意

▽海南省監査委員選任の同意

片山 光生氏(新)

黒江280番地

##### 提出

##### ●提出書類 1件

▽海南省土地開発公社の経営状況を説明する書類

# 常任委員会概要

## 総務委員会

**問** 議案第29号 海南市税条例の一部を改正する条例について、非課税口座

内の少額上場株式等の配当所得及び譲渡所得等の非課税措置の創設とあるが、実施されると前年度との比較で本市の税収はどのようになるのか。

**答** この措置は、20歳以上の者が証券会社等に上場株式等を受け入れる非課税口座を一つ開設し、平成24年から平成26年までの間、取得対価の合計額が毎年100万円、3年間で総額300万円以下の上場株式等を受け入れると、非課税口座において生ずる上場株式等の配当所得及び譲渡所得に対しては、所得税及び個人住民税が非課税になる。

現在、10%軽減税率が適用されており、金融課税一体化を推進する観点から、平成24年から20%の本則税率に戻すこととしているが、これに合わせて導入されることになっている。影響としては、株式投資を行う人にとっては、20%の税率が非課税となるため、この制度を利用すれば減税となり、本市では数百万円の減収となる。

**問** 子ども手当支給と高校授業料無償化にかかわって扶養控除の見直しなど

に伴い、市民税への影響はどうか。

**答** 平成22年度の課税内容から推測すると、年少扶養控除で約2億円、特定扶養控除で約1500万円、合計約2億1500万円の税収増となるものと見込んでいる。

**問** 10月1日からのたばこ税の引き上げにより、今年度市への影響はどうか。また来年度以降はどうか。

**答** 健康のために5%の方が禁煙するとみでの消費本数の減少及び10月からスタートであることを勘案して、約3千万円の税収増を試算している。来年度はこの半年を見て想定したい。

**問** 議案第41号 大東小学校耐震補強（本体）工事の請負契約締結について、消費税抜きで予定価格1億7670万円と落札価格1億3千万円を比較して落札価格が低いが、落札率はどうか。

**答** 今回の入札では、予定価格を設計金額の93%に設定した。その結果、落札率は73.6%、請負率は68.4%となったが、請負率の落札率に対する比率は93%になる。

**問** 工期が11月30日までとなっているが、工事期間中に夏休みもあり、実際の工程はどのようになるのか。

**答** 本工事を設計した業者が授業への影響を避け、夏休み期間に重点を置いた工程を立て、必要な工事日数を算定した結果、書類上の整理期間も含め、11月30日までとなった。現場の工程について

は、工事の騒音などの点もあり、2階、3階部分は夏休み中に耐震補強工事を完成させ、新学期から使用できるようにする。1階部分の学童保育室と幼稚園児保育室等は夏休み中には完成しないため、敷地北側の教室棟を代用する。

## 建設経済委員会

**問** 議案第42号 市道路線の廃止について及び議案第43号 市道路線の認定

について、シャスコ跡地とNTTの間にある駅前街区1号線を廃止し、新市民病院敷地部分を除いた同路線を新たに駅前街区30号線として認定することであるが、駅前街区1号線として残す方法はなかったのか。

**答** 市道の認定及び廃止については、昭和29年の建設省の通達により、市道の起点もしくは終点または両方を変更する場合は、旧路線の廃止及び新路線の認定の二重の手続きを要する、との国の指針が出されている。今回は市道の起点が変更されるため、この通達に従い、まず廃止を行い、再度認定を行った。

**問** 新市民病院の敷地になる予定の市道部分は、周辺ガストやNTTの職員の出入りに使用されていたと思うが、これらの業者との合意はどのようになっているのか。

**答** NTTについては、管理を行っている株式会社NTT西日本和歌山事業

部と協議を行った。その結果、もともと西側の道路から出入りしていたこともあり、今後も西側の道路から敷地に入ることで了承いただいている。ガストについては、管理を行っている株式会社すかいらと協議を行い、了承いただいている。

**問** NTT北側の道路は一番街から自動車直進できるようになるのか。

**答** 新市民病院建設用地であるシャスコ跡地北側の道路と同様に、車道6メートル、歩道2メートルの道路とする計画を進めている。

**問** NTT北側の敷地は、今後市で購入した後、駐車場として整備することであるが、現在市道の部分を病院敷地とした場合、東側からは入れない。駐車場の入り口はどのようになるのか。

**答** NTT北側の敷地については、市民病院駐車場用地として平成23年8月までに市民病院事業会計で購入することで事務を進めている。入り口については、NTT北側の道路から入る方法を現在検討している。

**問** 今、病院敷地として道路を廃止すると、イベント等でシャスコ跡地の西側を駐車場として利用する際に自動車の入り口がなくなると考えられるが、どのように対処するのか。

**答** 廃止する道路の敷地については、公用廃止の手続きを行い、管理課から管財情報課に普通財産として移管を行

## 教育厚生委員会

うが、すぐに道路を廃止するわけではなく、市道ではないが、新市民病院建設工事着手手までは従来どおりの道路として利用できる。

**問** 議案第30号 海南市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例

について、海南第一中学校と第二中学校が統合し、海南中学校となるが、予算措置はされているのか。

**答** 平成22年度の当初予算で、耐震補強工事を計上している。また、閉校式や記念誌作成費用も計上している。

**問** 当初の一中、二中、三中の統合の計画はまだ生きているのか。

**答** 今後約10年間を見据えて、出生数や経済が大きく変わらないう状況で進むのであれば、三中が単独でも適正規模が確保できると見込んでいる。

**問** 一中をどのようにするのかをどの部署で考えているのか。また、一中の設備をどこかの学校が活用するのか。

**答** 跡地活用は今後、有効に、効果的に活用していく必要があることから、企画財政課が中心となり関係部署と検討する。また、関係自治会等の意見も十分に聞いて進める。設備の利活用については、市内の全小中学校で再利用するが、統合校となる一中を優先とした。

**問** 議案第35号 平成22年度海南市一般会計補正予算(第1号)中の民間保育所施設整備費補助金について、安心子ども基金を活用することだが、く

るみ保育園は、数年前に定員を大幅に超過し、様々な問題があった。また、3所(日方・沖野々・こじか保育所)構想についての整合性がどういふふうに変わってきているのか。補助金の関係とのからみで説明願う。

**答** くるみ保育園は、平成16年に定員オーバーで県の勧告を受け、それに従い、徐々に定員を90人に近づけ3年ほど前から定員を守っている。また、補助金は、認可された民間の保育園に適用するものである。3所構想については、将来的には検討していくことになると思うが、現在のところ具体的な方策には至っていない。

**問** 現在、海南市の出生数は年間340人であるが、出生数が下がるのは目に見えている。くるみ保育園の建てかえや、きらら子ども園の新設等の中で定員数の関係を考えて、この先は認定子ども園のように幼稚園が保育所化されていくという流れになると思うが、その辺を十分に計画されて進めているのか。

**答** 今のところ現状のまま、将来的には保育所がどのくらい配置数が適切であるかということについて、今後検討していかねばならぬ。

## 議会の構成が決まりました

## 5月臨時会

一般選挙後の初議会となった海南市議会5月臨時会が、5月18日から20日までの3日間の会期で開催されました。

臨時会では、議長、副議長の選挙や議席の決定が行われたあと、総務委員会、建設経済委員会、教育厚生委員会の各常任委員会、議会運営委員会の委員の選出が行われ、国民健康保険野上厚生病院組合など5つの一部事務組合及び後期高齢者医療広域連合の議会議員の選挙、各諮問機関等の委員の選出が行われました。

また、市長から人事案件、専決処分事項など議案6件が、議員からは条例の改正が1件提出され、それぞれ可決、同意、承認されました。

## 議決内容

### 可決

●議員提出議案 1件

▽海南市議会委員会条例の一部を改正する条例

議会運営委員会の委員定数を7人から8人に変更するため。

### 同意

▽海南市固定資産評価員選任の同意

伊藤 明 雄 氏(新)

船尾167番地6

### 承認

●専決処分されたもの 5件

▽和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更

▽海南市税条例の一部を改正する条例

▽海南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

▽平成21年度海南市一般会計補正予算(第9号)

▽平成21年度海南市水道事業会計補正予算(第4号)

### 報告

●報告書類 2件

▽平成21年度海南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

▽平成21年度海南市水道事業会計予算繰越の報告

# 一般質問

## 市政について 11人が質問

市政に対する一般質問は、6月22日、23日、24日、25日の4日間にわたり、11人の議員が行いました。

中西 徹 議員

### 女性特有のがん検診 推進事業について

**問** ①検診無料クーポン券配布の時期、対象者数、受診率はどうか。 ②受診者のうち異常、がんの発見率はどうか。 ③乳がん検診は35歳からにできないのか。

**答** ①昨年は9月末に配布した。子宮頸がん検診の配布対象者数は1609人で受診者は258人、受診率は16%、乳がん検診の対象者数は2014人、受診者は359人、受診率は17.8%であった。 ②昨年子宮がん検診を受けた方で要精密検査の方は22人で、そのうちがんと診断された方は1人、乳がん検診については、要精密検査は87人で、そのうちがんと診断された方は2人であった。

### ヒトパピローマウイルス(HPV) ワクチンに公費助成を

**問** ①子宮頸がんの原因とされるHPVの県内のワクチン接種状況はどうか。 ②ワクチン接種の公費助成をできないのか。 ③小学6年生にワクチンを接種すると、いくらかかるか。

**答** ①本年7月から、全額公費負担で御坊市が実施する。 ②以前より市長会等を通じて、国に助成の要望を行っている。県医師会も知事に要望書を提出したと聞いている。県も全国健康局長会議の中で、HPVワクチンを予防接種法へ位置づけるよう国に提案した。本市としても当面は国や県の動向を見守りたい。 ③対象が約250人で、1250万円必要となる。

③検診の対象年齢は国の指針に基づいている。

### 10月1日試行運転される予定の コミュニティバスの運行について

**問** ①運行ルートを鯉川発着にできないのか。 ②バスは何人乗りか。 ③運賃をどのように考えているのか。 ④現在運行している大崎線、戸坂線、仁義線との連携計画はどうか。

**答** ①海南市地域公共交通協議会において、鯉川区内を始発とし、下津駅前を経由し、加茂郷駅から海南駅、海南市民病院まで至るルートで承認をいただいている。 ②運転手を除いて11人乗りバスを予定している。 ③全路線均一の低料金を考えている。 ④下津地区内での3路線については、これまでと同様に相互の乗り換えやJRとの接続、また海南駅や海南市民病院への接続など、利便性の向上を図っていききたい。

### 生活保護の葬祭扶助 について

**問** ①葬祭扶助(公的援助)の基準、運用はどうなっているのか。 ②遺留金品及び保護金品の返還免除はどうなっているのか。

上田 弘志 議員

**答** ①葬祭扶助を受けるためには生活保護の申請が必要で、その基準は、生活保護法第18条に、困窮のため最低限度の生活を維持することのできない者に対し、死体の運搬、火葬、納骨などが行われると規定されている。 ②保護金品の返還は、法第80条の規定に基づき、やむを得ず免除するものである。また、葬祭扶助を受けない場合の遺留金品の処分は、亡くなられた方の財産相続人により行うものと認識している。今後、その保護者、その扶養義務者、その他の同居の親族の申請に基づいて開始する「申請保護の原則」により対応したい。

### 日方奥ノ丁のため池 対策について

**問** ①地元自治会からの要望に行っているのか。 ②取り組み状況が自治会に伝わっていないのではないのか。

**答** ①昨年自治会から大雨時の浸水対策について要望書が提出されており、現地で自治会長と、要望内容の確認・状況把握を行い、対策について検討したが、工事は行っていない。 ②このため池は、現在、市の行

### ショップズタウンココ及びオー クワ店の閉店から市民の日 常生活を守る取り組みを

**問** ①市とオークワは、閉店に至る経過と今後の方針を市民へ説明する責任があるのではないのか。 ②旧昭南工業跡地に建設予定の商業施設の取扱商品や宅配サービスの継承について、オークワに申し入れるべきである。

**答** ①ココ店の閉店は営業の不振や悪化ということではなく、建物等の権利関係をめぐって、ココ組合、オークワ、ココの建物を取得したA社の3者で交渉が続いている。市としては見守るしかない状況であり市民への説明は難しい。 ②施設規模は格段の違いがあり、取扱商品はココ店以上のもので聞いている。宅配の継承は、市民の皆様方の利便性、高齢者の方々の負担軽減のためにも、今後、オークワに対して要望をしたい。

橋爪美恵子 議員

住民にとって使いやすい  
コミュニティバスの実現について

**問** ①国道42号を走っていた路線バスの代わりとして鯉川から下津駅前、加茂郷駅を經由して海南までのコミュニティバスを10月から走らせるといいますが、今後、地域公共交通協議会で、よりよい運行をさらに検討していくのか。②広報を含め、より多くの方に利用してもらうための対策は。

**答** ①鯉川からの路線は1日3便運行する。今後約3年をかけ、公共交通機関のない地域も含めたさらなる利便性の向上に向けて検討したい。②バス停を公共施設などに設けるなど利便性に努め、広報誌への掲載や折り込みチラシでPRを考えている。

かんきつ農業の  
施策充実について

**問** ①かんきつ農業は大切な基幹産業であるが、農林水産課が係に格下げとなった。かんきつに力を入れるためにも下津行政局にミカン課を設置してはどうか。②有田市のようにミカンに関するデータを見ることが

できるホームページを開設してはどうか。

**答** ①市役所全体の業務の効率性を勘案すると、産業振興課が農林水産業全般にわたっての一元的な窓口として施策を行うことが、効率的かつ有効であると考えている。下津地域のミカン農家の方々の利便性については、下津行政局地域サービス課と本庁の産業振興課の間で緊密に連携を図ることで補完できると考えている。②ミカンに特化した有田市と事情が異なるが、JAほか関係団体と協議を行い、研究したい。

子供の医療費について

**問** すべての子供たちが安心して医療を受ける権利がある。紀美野町を初め他の市町村でも子供医療費無料化が進む中、本市を子育てしやすいまち、子育て世代が住みたいと思つまちにするため、小学校卒業まで医療費を無料にしてはどうか。

**答** 本市の乳幼児医療費助成制度は、県の補助制度を活用しながら、小学校就学前までの乳幼児を対象に所得制限を撤廃して実施している。児童福祉の向上、子育て支援の観点からも

歴史民俗資料館の  
統合について

大変重要な事業と認識しているが、現下の厳しい財政状況において現行制度の安定的な維持が重要と考えている。今後は、皆様の意見を聞きながら、税収等や財政状況を十分見定め、慎重に検討したい。

片山 光生 議員

**問** ①旧海南市と旧下津町にある2カ所の民俗資料館の現状と観光資源としての活用について問う。②行政改革面から2館を統合して黒江公民館を資料館として利用してはどうか。

**答** ①本市歴史文化の貴重な資料を活用して、特別展、常設展や体験学習等の企画を実施し、多くの方々に来館していただいている。産業振興課を初め関係機関と協働しながら、観光資源として活用できるよう努めたい。②総合計画にも将来的に統合する必要があると位置づけられており、現在、歴史民俗資料館運営審議会でも協議している。今後、交通の利便性や駐車場の確保等、提案も含め総合的に検討したい。

防災について

**問** ①海南市地震・津波ハザードマップの津波浸水区域内に津波避難ビルは幾つあるのか。また、避難ビルの指定基準はどうなっているのか。②防災訓練の今後の課題と自主防災組織の結成状況について問う。

**答** ①耐震性がある3階建以上の建物を基準に、公共施設4カ所、民間施設2カ所を指定している。②各連合自治会単位で市、自主防災組織、自治会との協働により避難方法について再検証を行い、より実践に近い訓練していきたい。自主防災組織は、245自治会中、137自治会で結成されており、結成率は56%である。当面は7割の結成を目標としている。

栗本 量生 議員

中心市街地活性化基  
本計画(案)について

**問** ①商店街の取り組み姿勢はどうか。②この計画認定へのプロセスは。

**答** ①国から指摘されたように、行政主導ではなく、どれだけ商店街などの民間事業者

岡田地区の浸水調査  
と大坪川について

が本気で取り組むかが重要である。十数回、協議の場を持ったが、2回の再整備が見えてこない中で具体的な取り組みを見出せていない。②2回の再整備への見通しが立ち、国の補助金採択を受けられる取り組みが具体化した時点で、改めて国の認定を受けるべく計画策定に取り組む。

**問** ①調査結果と分析はどうか。②機械排水機場の設置に向けての取り組みはどうか。③現在取り組んでいる浸水対策の状況はどうか。

**答** ①雨水排水は、時間50ミリの降雨に対して亀の川の水位が高いときには排水が難しくなるので、ポンプ排水等の対策が必要である。②大坪川の下流部へのポンプ場設置は有効な手段であるため、調査結果をもとに県へ計画の提案を行い協議を進めたい。③大師橋の上流の農業用水路の取水施設に、洪水時に流入を少なくするため本年度にゲートを設置する計画がある。また、漆器商業団地内にある調整池を活用・整備し、大雨時における雨水の流出抑制を図りたい。



道事業には着手できない反面、合併処理浄化槽事業一本に掲げることも難しく、市民の意向等を踏まえ、総合計画の後期計画策定に向け、生活排水処理のあり方について協議したい。

\*\*\*\*\*  
河野 敬二 議員

**合併後の下津町での  
固定資産税上昇について**

**問** 合併により下津町地域で固定資産税が急上昇した方がいる。固定資産税が上がると国民健康保険税の資産割の分も上昇する。なぜこつということが起こったのか。また、その改善策を問う。

**答** 合併協定書では、固定資産税は納期を統一する以外は現行のとおりとなっている。今回上昇した原因として、住宅用地に対する課税標準の特定等が考えられる。住宅用地は、税負担を軽減するための特例措置があり、毎年、新たな住宅用地や非住宅用地の認定を行い、これまでの適用の確認、変更等の作業を行っているので、下津町地域に特化した上昇というわけではない。適正に見直しをした結果によるものなので、税の適正、公平の観点から緩和措置は実施

できないが、要望があれば再確認する。

**共同井戸、簡易水道の  
上水道化について**

**問** 海南市の東部は共同井戸、または簡易水道を利用していている。その現状と、将来上水道化していく計画を問う。

**答** 簡易水道は4つあり、給水人口は5566人である。

施設の老朽化による出水不良が見受けられ、管路の改修等も急務となっている。共同井戸は5地区に8組合あり、1252人が利用している。高齢化が進み、維持管理に支障を来す状況と聞いている。平成24年度までに水道事業の変更認可を受け、平成28年度には共同井戸と簡易水道の上水道への統合を完成させた。今年度、早い時期に関係者に、統合に向けた説明を行い、今後の方向を決めていきたい。

**きらら子ども園について**

**問** ①初めての幼保一元化の施設であるが、園長が正規職員でないことや、正規職員に比べ臨時職員が多すぎるのが問題ではないか。②園庭が未完成で外遊びや水遊びができず、ス

トレスがたまる。園庭の早期完成を望む。

**答** ①園長については、運営上、幼稚園教育に精通している人選を行った。順調に運営が進めば職員からの配置も視野に入りたい。職員については、配置基準より手厚く、よりよい保育を心がけている。正規職員と臨時職員のバランスもあるもので今後協議していきたい。②園庭

工事は8月末完了予定で、秋の運動会は新園庭で行いたい。それまでは、散歩の回数を増やしたり、ユニット式プール2基で対応したい。



きらら子ども園

**国民健康保険の無保  
険者対策について**

**問** ①資格証明書の場合、病院で医療費の全額を払い市役所で申請すれば、その7割が

返ってくるというが、実際は滞納分を差し引かれる等の問題があるので、発行をやめてほしい。②無保険者への今後の対策はどうか。

**答** ①資格証明書は、理由もなく国保税の滞納が一年以上になる世帯には、やむを得ず発行しなくてはならない。本人の了解を得て、返金分の約半分を税金として納めていただいている。国保税を少しずつでも納めていたただきながら短期証、そして、普通の保険証への移行を考えている。②対象者をすべて把握することは難しいので、広報誌などで、届け出が必要であることを周知していく。また、市民が気軽に相談できるような環境づくりに努めたい。

中家 悦生 議員

**AEDマップの作成、  
配布について**

**問** ①AED(※)は人の生命にかかわる機器である。AEDを設置している施設場所及びその施設内の設置箇所がわかるマップを作成してはどうか。②民間企業、団体等へAEDを設置しているかどうか調査を依頼してはどうか。

**答** ①現在市内61の公共施設に設置され、県のホームページでも掲載されている。マップ作成については、他県においてホームページで紹介されている例もあるので、今後方法等研究していく。AEDの設置施設であることや施設内どこに設置しているかわかるように工夫し、表示したい。②今後、スーパーマーケットや銀行等へのAED設置状況を把握するため、調査を検討する。

※AED:突然心臓が止まった人に電気ショックを与え、蘇生するための治療機器

**市営住宅に関する問題**

**問** ①入居者による裏庭等への増築を認めているのか。また、退去時には、増築部分をどうするのか。再利用をすることはあるのか。②入居者実態調査をしているのか。③老朽化等で新規募集をしない場合、周知すべきと考えるがどうか。

**答** ①増築には申請が必要で、内容を精査した上で承認している。管理面でトラブルも考えられるので、退去時に増築部分を撤去するように指導し、その上で再募集する。②収入申

告書や所得証明書、住民票を提出していただき、実態調査を行っている。③市民に周知していないが、問い合わせがあれば説明をしている。今後も同様の対応をしていく。

岡 義明 議員

お年寄りが安心して買い物や病院に通えるように

問 「冷水のまち中にごそバスを走らせて」の声は切実である。地域公共交通協議会で冷水の方々の声を聞いたのか。また、国道ルートでの運行ということであるが、利便性や乗車率を考えるとまち中ルートも必要ではないのか。冷水はどうなるのか。

答 運行ルートの案をつくる際に、地域住民の方々の意見を聞き、その意見を踏まえ作成した冷水のまち中を通る運行ルート案が、去る6月9日に地域公共交通協議会で承認をいただいた。

市税・国保税の徴税のあり方について

問 ①納付相談の際に徴収猶予制度を勤めているのか。②差し押さえ予告と地方税回収

機構への最終移管予告をどのように送達しているのか。③生命保険・年金を差し押さえるのはどのような場合か。

答 ①滞納の原因や現在の生活状況、借り入れ状況等を聞き、場合によっては、徴収猶予制度を紹介する。②普通郵便で発送している。窓あき封筒を使用し、黄色の書類が見えるようにし、また、封筒に重要と朱書きするなど、見落としが無いよう工夫している。③納税相談にに応じていただけなかった場合や数年來所在不明の場合などである。年金が振り込まれたら直ちに全額を差し押さえることはない。ただ、状況により、総合的に検討した上で判断を行う。

重根下村の浸水対策を

問 ①下村自治会からの大谷川の治水、止水に関する要望書に対して、どのように対応したのか。②洪水が起きる原因は何か。③抜本的な対策についての考えを問う。

答 ①平成14年度に大谷川が県道海南金屋線を横断する箇所を改良を行い、平成15年度には、大谷団地入り口付近の警察官舎前の市道横断箇所の改修を

行い、平成16年度には、警察官舎約100メートル下流の川幅が狭くなった部分の改修を行った。②大谷川の河川規模にしては流域が広く、また、背後に急峻な山地があること、県道との交差点上流付近で流下断面積が不足している箇所があることである。③大谷川上流側に比べ河川断面が不足している箇所をさらに調査した上で、改修に取り組み。



大谷川（重根下村）

家庭ごみの有料化について

問 平成22年4月、海南市集中改革プランにおいて、家庭系粗大ごみの処理手数料と家庭系ごみ指定袋の導入が具体的に組みこみとして明らかにされた。

有料化を行うべきでないと考え、計画内容を問う。

答 家庭系粗大ごみの処理手数料導入の計画内容について、今年度は、有料化に向けての具体的な準備や検討、市民への周知として、手数料の額や徴収方法、有料化に向けての条例の整備や補正予算の計上等を考えている。家庭系ごみ指定袋の導入についても、粗大ごみ同様に取り組みたい。市民の方々には、実施前にこの制度を十分に説明して理解を得たい。

周辺地域の活性化について

問 周辺地域の集落には、生活必需品を扱う店舗や移動販売車があるが、人口減少により、風前のともし火である。これらの商店、事業者が宅配により地域の高齢者や障害者、介護者の安否確認を行うことに対して、市が補助を行い、その任務を彼らに分担させることで、所得の底上げを行い、周辺地域の生活必需品を扱う店舗や移動販売車の維持に、ひいては地域の維持に努めるべきであると考え、市の認識を問う。

答 こついった取り組みについては、自治体だけで進める

ことは困難であり、宅配業者や地元商店街等、民間の方々の取り組み姿勢や地域の実情、また、住民の意向等について、まずは実態把握を行った上で、研究、検討を行いたい。

ショッピングタウン「ココ」の閉鎖について

問 今後のショッピングタウン「ココ」を中心商店街に対する活性化策、行政の取り組み体制を問う。特にショッピングタウン「ココ」の跡地をどうするのかを問う。

答 ショッピングタウン「ココ」の閉鎖は、中心商店街の核施設の閉鎖であるので、集客力が激変することにより、周辺商店街に与える影響は多大なものであると考える。現在、建物等の権利関係をめぐり、3者（「ココ」組合・オークワ・A社）での交渉が続いており、いつ解決するかという点も立っていないため、市としては見守るしかない。商店街、まちづくり海南市が連携し、解決後取り組みたいける体制づくりが必要ではないかと考えている。また、にぎわい再生事業補助金の見直しも含めた、制度の立案を考えていく必要がある。

# 新しい議会構成でスタート

## 議会の構成が決まりました

海南市議会5月臨時会、6月定例会で決定した常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の委員、一部事務組合議会・広域連合議会の議員及び各諮問機関等の委員など、新しい議会の構成は次のとおりです。

**議長・副議長就任のご挨拶**  
議長 磯崎 誠治  
副議長 黒原 章至

市民の皆様には、常日頃から本市の議会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私たちは、海南市議会5月臨時会におきまして、それぞれ議長、副議長に選出されました。身に余る光栄と感激するとともに、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いをいたしてまいります。

さて、地域主権改革を進めていくための羅針盤となる地域主権改革大綱、財政運営戦略が6月22日閣議決定され、地方自治をめぐる法制度改革が目まぐるしく進展しようとしています。これらは地方税財政へ影響をもたらす指針であり、今後地方の実態を踏まえた施策の推進が不可欠になるとともに、地方議会が果たすべき役割はますます重要となってきます。

三位一体改革により地方交付税が削減され、不況により税収が落ち込むなど地方財政が逼迫する一方で、少子高齢化が急速に進展しています。今、地方は厳しく大きな変革のときを迎えています。本市におきましても多くの課題が山積していますが、市民生活の向上や魅力ある地域の創造のために、市議会が一丸となって諸課題の解決に取り組んでまいります。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、就任のご挨拶いたします。

## 新しい議会構成

議長 磯崎 誠治      副議長 黒原 章至

◎…委員長      ○…副委員長

### 常任委員会

議員は3つの常任委員会のいずれかに所属することになっていて、定められた所管事項について、それぞれ専門的に審査を行います。

#### 総務委員会（定数8人）

総務部、出納室、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部・消防署及び消防団の所管に関する事項、他の委員会の所管に属さない事項

- |       |        |
|-------|--------|
| ◎川端 進 | ○宮本 勝利 |
| 磯崎 誠治 | 川崎 一樹  |
| 河野 敬二 | 山部 弘   |
| 前山 進一 | 榊原 徳昭  |

#### 建設経済委員会（定数7人）

まちづくり部、水道部、市民病院、農業委員会の所管に関する事項

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎川口 政夫 | ○片山 光生 |
| 橋爪美恵子  | 上田 弘志  |
| 中家 悦生  | 寺脇 寛治  |
| 出口 茂治  |        |

#### 教育厚生委員会（定数7人）

くらし部、教育委員会の所管に関する事項

- |       |        |
|-------|--------|
| ◎岡 義明 | ○宮本 憲治 |
| 美ノ谷 徹 | 黒木 良夫  |
| 栗本 量生 | 中西 徹   |
| 黒原 章至 |        |

## 特別委員会

特別委員会は、必要がある場合、議会の議決により設置されます。  
6月定例会で3つの特別委員会が設置され、各委員が選出されました。

<p><b>水道事業対策特別委員会（定数11人）</b> 水源の確保、老朽化する施設の整備・統合、簡易水道、共同井戸等の諸問題とその対策について調査・研究を行うために設置されました。</p>	<p>◎中家 悦生 ○河野 敬二 川端 進 黒原 章至 山部 弘 川口 政夫 出口 茂治 寺脇 寛治 片山 光生 美ノ谷 徹 橋爪美恵子</p>
<p><b>大規模土地・中心市街地活性化対策特別委員会（定数10人）</b> 土地開発公社が保有する土地の利活用及び中心市街地の活性化について調査・研究を行うために設置されました。</p>	<p>◎中西 徹 ○黒木 良夫 宮本 憲治 岡 義明 前山 進一 川崎 一樹 榊原 徳昭 栗本 量生 上田 弘志 宮本 勝利</p>
<p><b>議会だより編集特別委員会（定数6人）</b> 市民の皆様には議会活動の状況を周知し理解を深めていただくための手段の一つとして、議会だよりを編集・発行するために設置されました。</p>	<p>◎宮本 憲治 ○美ノ谷 徹 栗本 量生 橋爪美恵子 川崎 一樹 黒木 良夫</p>

## 議会運営委員会（定数8人）

議会の運営に関すること、会議規則や委員会条例に関すること及び議長の諮問に関することについて協議するとともに、議会運営委員会の所管に関する議案、陳情等を審査します。

◎榊原 徳昭 ○中家 悦生  
出口 茂治 岡 義明  
宮本 勝利 上田 弘志  
栗本 量生 中西 徹

## 一部事務組合議会

近隣の市・町と事務を共同処理するため設置された一部事務組合の議会です。海南市に係る一部事務組合議会は次の5議会で、選挙により各議員を選出しました。

<p><b>国民健康保険野上厚生病院組合議会</b> 同組合は、海南市、紀美野町で構成し、議員定数は10人、本市からは3人を選出しました。</p>	<p>中家 悦生 河野 敬二 寺脇 寛治</p>
<p><b>海南海草老人福祉施設事務組合議会</b> 同組合は、海南市、紀美野町で構成し、議員定数は8人、本市からは4人を選出しました。</p>	<p>榊原 徳昭 橋爪美恵子 出口 茂治 中西 徹</p>
<p><b>海南海草環境衛生施設組合議会</b> 同組合は、海南市、紀美野町で構成し、議員定数は13人、本市からは9人を選出しました。</p>	<p>黒木 良夫 黒原 章至 榊原 徳昭 栗本 量生 宮本 憲治 岡 義明 橋爪美恵子 片山 光生 美ノ谷 徹</p>
<p><b>五色台広域施設組合議会</b> 同組合は、海南市、紀美野町及び紀の川市で構成し、議員定数は13人、本市からは4人を選出しました。</p>	<p>川崎 一樹 宮本 憲治 上田 弘志 美ノ谷 徹</p>
<p><b>紀の海広域施設組合議会</b> 同組合は、海南市、紀美野町及び紀の川市で構成し、議員定数は12人、本市からは4人を選出しました。</p>	<p>川口 政夫 岡 義明 山部 弘 宮本 勝利</p>

## 広域連合議会

地方公共団体の事務の一部を広域にわたり総合的かつ計画的に処理するため設置された広域連合の議会です。

<p><b>和歌山県後期高齢者医療広域連合議会</b> 同連合は、県下全市町村で構成し、議員定数は31人、本市からは1人を選挙により選出しました。</p>	<p>出口 茂治</p>
<p><b>監査委員（議会選出）</b></p>	<p>片山 光生</p>

<p><b>海南・海草議会議員連絡協議会</b></p> <p>海南市、紀美野町の議会議員で構成し、両地域の発展と住民福祉の増進を図るため、必要な調査・研究を行います。理事の定数は16人、本市からは10人の理事を選出しました。</p>	<table border="0"> <tr> <td>磯崎 誠治</td> <td>川崎 一樹</td> </tr> <tr> <td>川口 政夫</td> <td>前山 進一</td> </tr> <tr> <td>黒木 良夫</td> <td>栗本 量生</td> </tr> <tr> <td>岡 義明</td> <td>橋爪美恵子</td> </tr> <tr> <td>片山 光生</td> <td>中西 徹</td> </tr> </table>	磯崎 誠治	川崎 一樹	川口 政夫	前山 進一	黒木 良夫	栗本 量生	岡 義明	橋爪美恵子	片山 光生	中西 徹
磯崎 誠治	川崎 一樹										
川口 政夫	前山 進一										
黒木 良夫	栗本 量生										
岡 義明	橋爪美恵子										
片山 光生	中西 徹										

## 諮問機関等の委員等

国民健康保険運営協議会	黒木 良夫 榊原 徳昭 河野 敬二 寺脇 寛治 美ノ谷 徹
民生委員推薦会	黒木 良夫 宮本 憲治
公害対策審議会	川崎 一樹 山部 弘 片山 光生
市営住宅等入居者選考委員会	前山 進一 上田 弘志
和歌山下津港整備・振興促進協議会	磯崎 誠治 川口 政夫
都市計画審議会	前山 進一 上田 弘志 出口 茂治
和歌山下津港（海南地区）津波対策協議会	磯崎 誠治 黒原 章至
第二阪和国道延伸促進期成同盟会	磯崎 誠治
和歌山県高規格幹線道路建設促進委員会	磯崎 誠治
近畿自動車道紀勢線海南御坊間整備促進協議会	磯崎 誠治
国道42号・有田海南間整備促進協議会	磯崎 誠治 川口 政夫
国道370号海南紀美野間改修促進協議会	磯崎 誠治 前山 進一 川口 政夫
国道424号海南有田川間改修促進協議会	磯崎 誠治 黒原 章至 榊原 徳昭 寺脇 寛治 中西 徹
県道海南金屋線改修促進協議会	磯崎 誠治 黒原 章至 川崎 一樹 出口 茂治 美ノ谷 徹
府県道泉佐野岩出線等整備促進期成同盟会	磯崎 誠治

## 編集後記

市議会議員選挙を経て、編集委員会のメンバーが大きく変わりました。6名中4名の委員は、今回初当選の議員です。

議会だよりの内容も、顔が入れ替わると同じように、市民の皆様にとって新鮮味あふれるものとなるように努力したいと考えています。

紙面の都合上、詳細な報告は困難ですが、市のホームページで議会の会議録が検索できるようになっておりますので、合わせて活用いただければ幸いです。

どうぞ、新しくなった編集委員会を宜しく願います。

宮本 憲治

### 議会だより編集特別委員会

委員長	宮本 憲治
副委員長	美ノ谷 徹
委員	栗本 量生
委員	橋爪 美恵子
委員	川崎 一樹
委員	黒木 良夫

